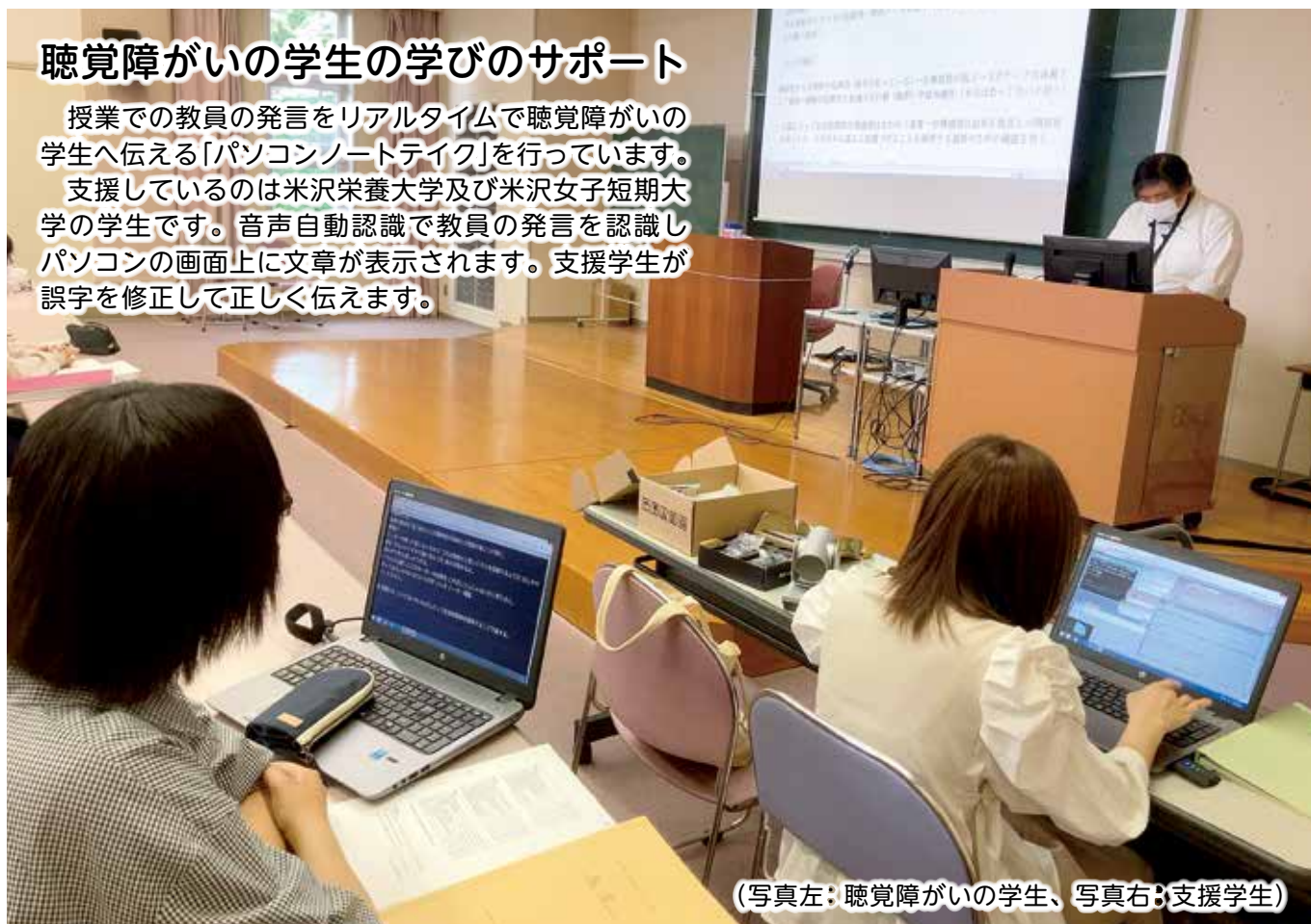


学園都市・米沢

『学園都市・米沢』をテーマに、本市にある大学等の地域に密着した学術研究や、地域と学生の交流活動などを紹介していきます。

聴覚障がいの学生の学びのサポート

授業での教員の発言をリアルタイムで聴覚障がいの学生へ伝える「パソコンノートテイク」を行っています。支援しているのは米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の学生です。音声自動認識で教員の発言を認識しパソコンの画面上に文章が表示されます。支援学生が誤字を修正して正しく伝えます。



(写真左：聴覚障がいの学生、写真右：支援学生)

山形県立米沢女子短期大学 公開講座

講師 日本史学科 山田彩起子 准教授
「平安時代～鎌倉時代の后と女院」(全3回)

地域の方を対象に、平安時代～鎌倉時代の后と女院の在り方について、その制度及び特定の人物に注目し講義を行いました。





9月定例会

8月31日～9月28日

令和3年度 決算案件12件を認定

令和4年9月定例会は、8月31日から9月28日までの29日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、報告案件1件を了承し、人権擁護委員候補者の推薦及び米沢市教育委員会委員の任命に同意した後、議案32件、請願2件を各委員会にそれぞれ付託しました。

5日から7日までの3日間には12名の議員による一般質問を行いました。

9日及び12日から14日までの4日間を決算特別委員会に当て、一般会計・8特別会計及び3企業会計における令和3年度の各決算等について審査を行いました。

15日には総務文教常任委員会、16日には民生常任委員会をそれぞれ開き、議案審査及び請願審査を行い、同日の本会議では、追加議案2件を上程し、所管の委員会に付託しました。また、20日には産業建設常任委員会を開き、議案審査及び請願審査を行いました。

21日には予算特別委員会を開き、補正予算案件7件について審査を行いました。同日の本会議では、16日に追加上程した議案2件について各委員長報告を行い、全て原案のとおり可決しました。

最終日の28日の本会議では、各委員長報告を行い、決算案件12件を全て認定するとともに、補正予算案件などの議案20件を全て原案のとおり可決し、請願2件のうち1件を採択し、「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出方請願」を不採択としました。

また、意見書の提出に係る発議3件のうち2件を原案のとおり可決し、「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について」を否決、その後、議員派遣について（報告）を了承し、9月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出方請願

本請願は、インボイス制度の実施により個人の中小事業者や各種フリーランスの事務や消費税負担の増加につながるなどから、インボイス制度の実施を中止することを求め、国に対して意見書を提出するよう求めるものです。

【委員】インボイス制度は消費税の軽減税率と併せて導入されたものであるが、インボイス制度だけではなく軽減税率についても廃止を求める考えか。

【参考人】本請願は、実施が目前に迫ったインボイス制度の中止のみを求めるものです。

【委員】インボイス制度は消費税とは関係が切れないものであると思うがどのように認識しているか。

【参考人】消費税が複数税率となったことでインボイス制度が導入されることになったと認識しています。

【委員】インボイス制度が導入されると、建設業、農業者等の中小事業者の消費税負担の増加につながると認識しているのか。

【参考人】そうした事業者の消費税負担は増加すると考えています。

【委員】インボイス制度が導入される際の特例は。

【参考人】インボイス制度導入に際しては令和元年から令和11年までの10年間の経過措置があり、特に令和5年から令和8年までの3年間は仕入れ税額相当額の80パーセントを控除でき、令和8年から令和11年までの3年間は仕入れ税額相当額の50パーセントを控除できる措置があります。

【委員】インボイス制度が始まってインボイスを必要としない取引は想定されるのか。

【参考人】個人経営のタクシー事業者などや3万円以下の取引を帳簿で管理する場合は想定されていますが、いずれも免税にはなりません。

【委員】インボイス制度の延期・凍結を求めている業界団体等はあるか。

民生

【参考人】 商工会議所連合会
や、税理士団体の税経新人会が
そのように求めています。

【委員】 シルバー人材センター
の会員にインボイスの発行を
求めることが困難な理由は。

【参考人】 平均で月4万円程度
の収入の会員が課税業者となっ
て消費税を支払い、インボイス
を発行するのは厳しい状況であ
ると考えています。

▼米沢駅前駐車場の設置及び
管理に関する条例の一部改正
について

本案は、米沢市置賜広域観
光案内センター内に設置され
るコワーキングスペース利用
者の駐車料金を全部または一
部免除するほか、規定の整備
を図ろうとするものです。

【委員】 米沢駅前駐車場の
利用状況により、コワーキン
グスペース利用者が駐車でき
ないおそれはないか。

【環境生活課長】 東駐車場の
収容台数70台に対し、令和3年
度の一日の平均利用台数は24台
であることから、コワーキング
スペース利用者が駐車する台数
は十分に確保できると考えてい
ます。

▼米沢市児童福祉施設設置条
例の一部改正について

本案は、米沢市上郷児童セ
ンターを廃止するとともに、
米沢市立吾妻保育園の定員を
減員しようとするものです。

【委員】 利用者数の減少のほ
か吾妻保育園の定員を減員す
る理由は何かあるのか。

【子育て支援課長】 吾妻保育
園では医療的ケア児の受入れ
を行っており、間仕切りなど
により現在の保育スペースの
一角に処置室を設ける必要が
あることから、定員を減員し
て対応したいと考えています。

【委員】 定員を超える入所の
申込みがあった場合は、どの
ような対応になるのか。

【子育て支援課長】 定員の弾
力化により、定員の120%ま
では入所可能な取扱いにしてい
ます。

産業建設

▼市道中山街道線上屋敷橋撤
去に伴う仮設工事請負契約の
締結について

本案は、市道中山街道線上
屋敷橋において、令和4年8
月3日からの大雨により、橋

脚が損傷したことに伴い、路
面が沈下し、橋梁の上部工に
開きが生じたことから、倒壊
するおそれがあるため、橋梁
撤去に向けて、被災した橋梁
を安定させるための仮設を設
置しようとするものです。

【委員】 随意契約により仮契
約を締結しているが、関係団
体へ十分な説明は行ったの
か。

【土木課長】 業界団体の米沢
支部長に対し本工事の施工に
最も適した事業者の紹介を要
請し、米沢支部長から回答を
得たのですが、支部内での
協議内容については確認を
取っていないところでした。

【委員】 入札を行わなかった
理由は何か。

【土木課長】 今回の解体工事
については全国でもあまり例
がないことから、民間事業者
からの技術提案を受け、最も
効果的と考えられる提案を選
定するプロポーザル方式が、
入札方式よりも適していると
考えられますが、この方式で
は手続きに時間を要し、国の
災害査定に向けた測量設計調
査が完了できなくなるおそれ
があったことに加え、期間が
ないことから市が設計を組
み、相手方に情報を開示して
入札を行うことが困難である

ことから、指名競争入札等は
できなかったところです。

▼財産（圧雪車）の取得につ
いて

本案は、現在、天元台高原
スキー場に配備している圧雪
車が老朽化し、ゲレンデの整
備に支障が生じるおそれがあ
ることから、これを更新しよ
うとするものです。

【委員】 今回、外国製の車両
を購入しようとしているが、
国産車両の購入については検
討したのか。

【観光課長】 以前、国産車両
を利用していました。が、エン
ジントラブルが多く作業効率
が落ちたため、今回購入する
予定の会社に変更した経緯が
あることから、他社の国産車
両については検討しなかった
ところです。

【委員】 随意契約の場合でも
2者以上から見積りを徴取
し、競争性・公平性を期すべ
きではなかったか。

【観光課長】 他社の車両の場
合、エンジントラブルのおそ
れがあるほか、操作性が変わ
り重大な事故につながりかね
ないなど安全性に関する懸念
があったことや、今回購入す
る予定の車両の場合、現に保
有している車両との間でキャ
ビンを乗せ替えることも可能

であるなど、汎用性が高いこ
とから、1者による随意契約
としたところです。



▲天元台高原スキー場に配備している
圧雪車

▼米沢市置賜広域観光案内セ
ンターの設置及び管理に関す
る条例の一部改正について

本案は、米沢市置賜広域観
光案内センターの多目的室を
コワーキングスペースの用途
に変更し、使用料及び所要の
改正を行おうとするものです。

【委員】 例えば6か月の契約
をしている方が満室で利用で
きなかった場合はどのように
対応するのか。

【観光課長】 収容人数につい
ては、25名程度を予定して
います。これまでの実証事
業における利用者数から、
開所後に満員になることは
想定していませんが、満員
になった場合は時間をずら
して利用していただきたい
と考えています。



しみんへいわ
市民平和クラブ

かげさわ まさお
影澤 政夫 議員

**本市独自事業である協働提案
制度補助金の充実を求める**

本制度補助金の有効性を更に高めるためアイデアコンペ型の提案等、学生はもちろん、中学生や高齢者も含め全市民参加型制度を目指し、制度の活性化を図ってはどうか。

り、現在の制度での実施となつています。今年度からは審査項目に持続性も加え、団体独自で取り組むことが可能かどうか等も含めて審査していきます。この効果も検証しながら、今後にも必要な改善を行っていきます。

情報公開条例の透明性・信頼性をさらに高めるために



いしんかい
一新会

とりうみ りゆうた
鳥海 隆太 議員

**職場環境と人材への投資
が市民福祉につながる**

モチベーションの下がるような定期的な人事異動の見直しをするべきではないか。

〔総務部長〕モチベーションの低下や職場環境の悪化は市業務のマイナスになることは同感です。人事異動がモチベーションを低下させる可能

プラスチックごみのリサイクルは、有価物に

プラスチックごみの一連の流れはどうか。

〔市民環境部長〕資源物として収集、千代田クリーンセンターで中間処理し、公益財団

各種会議録作成に資する録音データについて、米沢市文書管理規程に定める公文書として管理すべきではないか。

〔総務部長〕職員が職務上作成し、または取得した文書・図画及び電磁的記録については、本市情報公開条例及び文書管理規程に基づき、適切に管理しています。また、録音データについて、発言の内容がそのまま公開されることで各種弊害も想定されます。この部分の運用を改めるには慎重な議論が必要と考えます。

法人日本容器包装リサイクル協会に引き渡しています。

〔市民環境部長〕作業員による選別作業と圧縮梱包を行い、資源化業者に引き渡します。

平成16年の住民監査請求に対する監査結果報告書の中で、資源ごみとして収集された古紙の所有権は、民法の規定により本市にあるとの指摘があるが、廃プラスチックも同様に、本市に所有権が帰属するのではないか。

コロナ禍における市民相談・寄添う行政の充実を

高齢者世帯が多い本市の現状で、例えば、コロナ禍も3年目を経過した斎場における対応も含め、寄り添った行政の在り方などを再確認する時期に来ているのではないか。

〔市長〕斎場の件でも、最初の頃のコロナと現在のコロナの認識が変わってきていると思っています。そこは、今までどおりの斎場の在り方ではなく、それこそ家族やそういう方々に寄り添った対応をしていく必要があります。

賜広域行政事務組合に移ったものと認識しています。

観光地の災害復旧や価値を高めるために

観光地は市の顔であり、代名詞である。災害復旧やその価値を高めるための財源として、新たに（仮称）宿泊税を創設し、基金化することを考えてはどうか。

〔産業部長〕観光資源の魅力増進、文化・地域振興を図る上で有効な独自財源ですが、慎重な検討が必要と考えます。

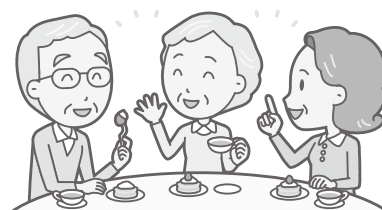
本市への宿泊者が約26万人



▲豪雨災害にあった新高湯温泉に続く道

いる。先進事例を参考に調査研究を行ってはどうか。

〔産業部長〕他市の具体的な活用事例、税率や基金化できるかどうかも含め調査研究していきたいと思っています。



また、高齢者の独り暮らしの方々には、やはり何をどうできるか、しっかりと取り組んで、寄り添った対応をしていきたいと考えています。



桜田 門 幸子

せきや さちこ
関谷 幸子 議員

東吾妻山の観光推進は

東吾妻山一帯の観光について、今までどのような施策を行ってきたか。

〔産業部長〕 令和元年度より福島市と連携し、外国人観光客に向けて姥湯温泉や五色沼などの観光資源を用いたプロモーション映像を制作し、台湾や欧米向けのオンライン広

告等によるPRを展開しました。また、安全な登山につなげるため、英語、中国語の多言語トレイルマップや鳥瞰図パネルを作成しました。さらに、国内在住外国人を対象に、峠駅から滑川温泉までのスノーシュートレッキングと宿泊体験を通して、SDGsの観点から地域の魅力を探るモニターツアーなどのプロ



日本共産党市議員

たかはし ひでお
高橋 英夫 議員

本市のゼロカーボンシティ宣言からまもなく2年だが、脱炭素への取組状況は

市民理解は広がったのか。市民の取組は始まったのか。このことについての認識は。

〔市民環境部長〕 市長を囲む座談会でもSDGsの目標達成とゼロカーボンシティの実現を目指していること、今

年7月にプラスチックごみゼロ宣言を行ったことなどをお伝えしています。市民の理解は高まってきているものと感じています。
〔建設部長〕 省エネ化を目的として断熱材を付加する改修工事が対象の住宅リフォーム補助金の実績は、令和3年度12件、今年度8月26日現在10件で、長期優良住宅認定申

グラムを実施しました。新たな施策を展開する考えはあるか。

〔産業部長〕 本市の観光づくりを進めるDMO「プラットヨネザワ(株)」が、観光庁の「看板商品創出事業」を活用し、峠駅や滑川大滝を中心としたエリアへの観光戦略策定事業を進めており、域内の事業者や観光事業者間で課題等を共有しながらコンテンツ化を図り、外国人富裕層をターゲットとした誘客施策を検討していきたいと考えています。

また、昨年度から「磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代

請の実績は、令和3年度28件、今年度は17件の申請があり、耐震や断熱、省エネを住宅性能に求める市民意識は着実に浸透しているものと捉えています。

本市のホームページのトップページを見ても「SDGs未来都市」や「ゼロカーボンシティ宣言が目に入らない。バナーを貼るなどアピールすべきではないか。
〔市民環境部長〕 ホームページを見るに当たり、すぐ目につくところに案内を貼り、ページに導けるような工夫について検討していきます。



▲観光戦略策定事業が進められている滑川大滝

地域満喫プロジェクト」が開始されています。国及び本市を含む関係自治体が連携し、5か年計画で国立公園の自然

取組の具体化を進めるための施策は

地元の新電力や山形大学のカーボンニュートラル研究センターの力をお借りし、環境省の脱炭素先行地域に応募してはどうか。5年間で50億円、最大4分の3の支援を受けることができ、太陽光発電や蓄電池、電気自動車などを購入する際の補助金として活用できる。

再生可能エネルギーだけで自己完結できる家が増え、市民の取組が前進すると思うがどうか。

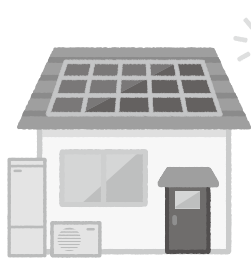
の魅力を将来世代に引き継げるように保全しながら、世界水準のナショナルパークを目指していきます。

本市の人口減少対策は

子どもを産み、育てやすい環境は整っているか。

〔健康福祉部長〕 今年度から、子ども家庭総合支援拠点を子ども家庭課に設置し、関係機関と連携しながら、複雑化した子育ての悩みや家庭の困りごとなどの相談に保健師、社会福祉士、保育士などが応じ、必要な支援に係るソーシャルワークを行っています。

〔市民環境部長〕 このたびの再生可能エネルギー目標策定についても国の補助金を活用した事業として行っています。他団体の補助制度も研究して活用を検討していきます。





至誠会
しまぬき

島貫 宏幸 議員

8月3日の豪雨災害による被害の復旧見通しは

橋梁や道路、河川や水路といった重要インフラや、農地や林道など、台風シーズンも控え早期復旧が待たれるが、現段階での復旧見通しはどうか。

〔建設部長〕 令和4年9月1日現在の、本市が管理する土

木施設の被害額は約6億1千万円で、被害箇所は79カ所となっています。橋梁復旧費など現在設計調査中のものは、この被害額に含まれておりません。復旧対応としては、のり面や路肩復旧、側溝や水路の土砂上げ、取水口のしゅんせつなどで、小規模被害については8月4日から応急復旧を行っています。被害箇所

が多く現在も作業中の箇所や未着手の箇所があり、急ぎ復旧作業を進めています。市道中山街道線土屋敷橋の橋脚欠損及び床板損傷と、市道八谷沢線ののり面崩壊及び路肩欠損については、公共施設災害復旧事業を活用し、11月中旬以降に予定されている災害査定を受け、国や県と相談しながら復旧に向けた業務を進めています。

〔産業部長〕 農地や農道及び水路などの農業施設の被害額は、8月26日現在で2億1千万円、林道の被害額については5千2百万円と見込んでいます。

基本方針の策定に取り組むべきではないか

るところです。農地所有者や水路管理者が復旧に要した費用に対し、補助金にて支援し復旧を進めていく考えです。市の管理林道の被害については、今後補正予算を組み復旧を進めていく予定です。



▶8月3日の豪雨で土砂が流入した水田

民有地の土砂災害復旧について、基本方針を定め対応している自治体もあるが、本市はどう考えるのか。

〔市民環境部長〕 本市では土砂災害復旧について、基本方針として明文化しているもの

基づき、市民の皆様に安全・安心に御利用いただけるよう施設整備を計画的に行っていくと考えています。



至誠会
しせい

古山 悠生 議員

中学校の部活動の地域移行をどのように進めるのか

国では、令和5年度から令和7年度までに、中学校の休日の運動部活動を地域のスポーツクラブや民間事業者などに移行していくことを基本としているが、部活動を地域移行するに当たり、どのようなことが課題になると考えら

れるのか。

〔教育長〕 指導者の数の確保及び育成、活動場所や活動経費の確保、どのように運営していくかなどの課題が考えられます。単に部活動の実施主体を学校から地域へ移行するのではなく、現在、部活動に所属していない生徒も含め、スポーツ、文化芸術活動への参加を望む生徒にとってふさ

子どもたちが夢と希望が持てるスポーツ環境の整備を

老朽化する各スポーツ施設の整備をどのように進めるのか。

〔教育長〕 各施設の改修については、多額の費用が必要となることから、国、県等の補助を受けながら整備を行っていく必要があり、今後、活用することが可能な補助制度を研究し、米沢市公共施設等総合管理計画の個別施設計画に



▶子どもたちの夢と希望を育む環境の整備を（写真は皆川球場）

外国人労働者への支援体制は

はない状況です。今般の災害を機に、堆積土砂排除を進めるための基本方針の策定について検討していきます。

今後、人口減少が進むと、より多くの外国人労働者の力が必要になってくると考えられるが、外国人労働者に対する本市の支援体制はどのようなになっているのか。

〔産業部長〕 国や県の支援メニューを市のホームページ等を活用して周知するとともに、各種支援制度について丁寧に説明を行います。また、関係機関に取り次げるよう国、県、関連団体と連携しながら外国人労働者の支援を行っていく体制を整えているところです。



しみんへいわ
市民平和クラブ

こくば ひろのぶ
小久保広信 議員

公契約条例制定の取組を

公契約条例は、自治体が発注する公共工事、業務委託等に從事する者の賃金や報酬の下限額を設定し、自治体、受注者の責任等を契約事項に加えることを定めたものである。令和4年6月21日の時点で、賃金条項を有する公契約条例を、野田市、多摩市、川

崎市、相模原市など27の自治体が制定し、賃金条項が無い公契約条例は山形県をはじめ50の自治体が制定している。制定に向けた取組が必要ではないか。
〔総務部長〕 建設工事及び建設工事等に係る測量・設計業務等は、低入札価格調査制度を活用し、建設工事は、総合評価落札方式の試行制度もあり、著しく低い価格での落札



しみんへいわ
市民平和クラブ

おおた かつのり
太田 克典 議員

学校給食基本方針の説明と公文書の在り方は

説明会の対象者と参加者はどの程度であったか。

〔教育長〕 当該説明会の対象者は児童の保護者と未就学児の保護者で、参加率は児童の保護者が約13%、未就学児の保護者が約12%でした。

広幡、六郷、塩井小の統合

小学校に関して、給食施設については今後検討していくと説明した会場はあるか。

〔教育長〕 西部小学校区及び六郷小学校区での説明会で参加者から質問があり、現第六中学校舎は給食室がないため、給食提供の方法については検討していくと回答しています。

会議録を作成するため録音

であるダンピング防止の対策を講じています。労働者の適正な労働条件も確保されていると考えています。



▲新市立病院の建設現場

すると説明しながら実際には会議録は作成していない。また、録音データは削除している。こうした取扱いは適切か。

〔総務部長〕 説明会の内容を記録するものとして会議録の代わりに報告書が作成されており、問題はないと考えます。録音データは、報告書が完成した時点で課長等が保管、または、保存する必要がないと認めれば削除されます。

広く一般市民を対象に説明会を開きたいので教育委員会からも出席して説明してほしいという要請があった場合に、それに応える考

他の委託業務の労働者賃金を含めた労働条件は、労使双方で決定すべきで、労働基準法や最低賃金法に基づき定められており、公契約条例が目指す労働者の保護対策は、特定の地域や業種等に偏らないような様々な施策を実施すべきと考えています。

孤独・孤立問題をどうするか

本市の孤立・孤独状態の人の支援策をどう考えるのか。
〔健康福祉部長〕 相談機関を取りまとめるプラットフォームを創出し、全ての相談機関の共通認識に基づき力強い連

えはないか。

〔教育指導部長〕 趣旨や内容が市及び教育委員会の施策、基本方針に合致しており、公益的意義があるかどうかで判断したいと考えています。



本市の孤独死対策は

携により、多様化する課題に取り組みたいと考えています。

無園児の対策をどうするか

保育所や幼稚園に通っていない無園児は、親子が孤立すれば、虐待などのリスクが高まるとの指摘もある。無園児対策をどう考えているのか。
〔健康福祉部長〕 家庭で保育している保護者や養育者の不安や悩みを少しでも解消するため、子ども家庭課で、2歳以上の未就園児を対象に、未就園児等支援事業を実施するため準備を進めています。

本市ではどのような対策が実施されているか。また、PRは十分になされているか。

〔健康福祉部長〕 本市の対策としては、高齢者愛の一声事業、高齢者見守り支援事業、あんしん電話事業、社会福祉協議会が実施している見守り支援サービス等があります。登録世帯数は増えておらず、その理由として周知不足が考えられます。様々な事業を広く市民に知っていただけるよう周知範囲や方法の拡大に努めていきたいと考えています。



櫻田 健二
さくらだ けんじ

山村 明 議員
やまむら あきら

雇用と待遇をどう考えるか

山形地方最低賃金審議会の結果から、労働者側は上げたい、使用者側は上げたくない、と推測される。現場の雇用主からは、最低賃金では働く方には来てもうえないと聞く。この乖離をどのように理解すべきなのか。

〔産業部長〕 使用者側はコロナ

禍、原材料・エネルギー価格高騰及び円安によるコスト高を受けながら事業継続に取り組んでいる中で、大幅な最低賃金の上昇には賛同し難かったと想定されます。今後、企業が持続的に発展していくには、優秀な労働者の雇用確保が必要不可欠と考えられます。本県と他県との格差が拡大すれば本県からの労働力流出も懸念され雇用者側は、



日本共産党市議員
にほんきやうとうしぎだん

高橋 尊 議員
たかはし ひさし

広幡・六郷・塩井統合小学校の給食は「センター方式」か

令和9年度に開校予定の広幡・六郷・塩井統合小学校の給食施設について、教育委員会が、「センター方式を検討すべき」と答弁している。

昨年6月と9月定例会で「広幡・六郷・塩井統合小学校の給食施設は自校方式で実施す

ることではないか」と質問した。教育管理部長は「小学校は自校調理方式の継続を基本とする、その方針に従って実施する」と繰り返し答弁し、「広幡・六郷・塩井統合小学校は自校調理方式で実施する」とは最後まで答弁しなかった。広幡・六郷・塩井統合小学校の「センター給食の検討」は、教育委員会が自ら決定した「小学校は自校方式の継続を基本とする」に反していると考えられるがどうか。

〔教育長〕 今般、学校給食共同調理場の建設地については、第六中学校グラウンドの方向で進めていくことについて議会に報告したところであります。

第六中学校には給食調理施設が整備されていないことから、広幡・六郷・塩井の統合小学校として使用する場合には整備について検討する必要がありますが、給食調理施設という同種同質の施設を同じ敷地内に同時に整備すること

冬期間の路面の凹凸問題

より適切な賃金体系の運用が必要になると考えています。

米沢駅前南から宮坂考古館脇南側までの二百数十メートルの区間で3カ所も凹凸になるところがあり、幹線道路のため大渋滞になる。低温状態時に車のタイヤが水を吸って圧雪の上を進むと、水と圧雪が作用して起きるのではないかと。また、車道幅は狭く歩道縁石があり、そのため路肩が鍋底状態で凹凸になる。循環バスや大型車同士が擦れ違うときは非常に危険で、同路線

南側にある大きな製造業の会社2社の原料搬入と製品搬出の大型トラックが通行できない状態になる。この問題についての認識と対応は。

〔建設部長〕 厳冬期にタイヤチェーンを付けた大型車両に雪が踏み固められることにより段差が出ると承知しています。米沢駅から通町方面への学生・通勤者が非常に多い路線であることから、第1種除雪指定路線に指定しており、排雪や路面の凹凸処理、ザケ取りを市が行っています。市民や沿線企業の通行に支障が出ないよう安全な道路状況の



▲冬に悪路渋滞が起きる東二丁目東線

確保に努めている状況です。

て教育委員会の方針になったというのではなく、答弁した職員が職責で公共施設の整備の考え方と学校給食基本方針を基に答弁してきたということです。



いつ、どのような議論から「センター方式も検討すべき」となったのか。

〔教育管理部長〕 議論を重ね



櫻田 郁雄
さくらだ ゆきお

堤 つつみ

郁雄 いくお

議員

国道13号中田交差点の改良を

国道13号中田交差点の東西への移動には、横断歩道も歩道橋もなく、歩行者が安全に渡ろうとすると何百メートルも離れた横断歩道を利用せざるを得ない。改善すべきと思うがどうか。

〔教育長〕 中田交差点から北側230メートル、南側39

0メートル先に横断歩道があり、これが直近の東西の動線になります。通学路に関しては毎年安全点検を実施しており、平成24年度から令和3年度までに危険箇所としての報告はなく、児童生徒の交通事故も発生しておりません。また、地区から横断歩道及び歩道橋の設置についての要望もありません。



市民平和クラブ
しみず へいち

我妻 わがつま

徳雄 とくお

議員

河床低下対策を県に強く要望を

河川は、上流からの土砂供給と下流への土砂流出が、一定の均衡を保ち河床は安定しているが、砂防堰堤等により土砂供給が遮断されると、徐々に河床が洗掘され下がっていく。結果、護岸や橋脚の根元部分が深くえぐられ増水時に

損壊する。8月3日の水害では、市道中山街道線の上屋敷橋が損壊した。これは、河床低下によるところが大きいと考えられる。県にどのような働きかけを行っているか。

〔建設部長〕 河床低下が進行することで、河岸侵食による護岸の落ち込みや橋脚基礎部が露出することによる安全性の低下、既存取水口での落差

四中と六中が統合して(仮称)北中学校ができたとき、六

中学区から通学する生徒が増えると思われる。横断歩道を渡るために、自転車で逆進する必要が出てくるのではない

か。また、一般市民の利便性も考えなければならぬのではない

か。〔教育指導部長〕 地区、保護者、学校それぞれの代表者とどこを通るかを確認しながら安全な登下校について協議をしていきたいと考えています。

〔建設部長〕 一般歩行者の視点というものもありますので、関係機関と情報を共有しながら

発生など、様々な影響を及ぼしています。そのため、機会を捉えて河川管理者の山形県置賜総合支庁河川砂防課へ河床低下対策をお願いしてきました。次年度の米沢市重要事業要望には、より具体的な河床低下対策を盛り込み県へ要望します。また、可能な場所については、砂防堰堤等のスリット化についても県に要望します。

市全体を考えての廃校施設・学校跡地利用を

米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画では、平成

ら、話し合いを進めていきたいと考えています。



▲横断歩道がなく東西に渡れない国道13号中田交差点

豪雨災害に備えて

8月3日の豪雨では本市も

29年に中学校が8校、小学校が18校だったものが、最終的に中学校が3校、小学校が8校になる予定である。短いスパンで統廃合が進み、多くの廃校施設・学校跡地が市全域に点在する。全体を考えた廃校施設・学校跡地利用の検討が必要ではないか。

〔総務部長〕 米沢市公共施設廃止後の施設利活用の方として、本市が行う事業等で施設等を利用できないか、地域団体等による公益目的での利活用ができないかなどの4段階にまとめています。今後、利活用の検討を要する施



▲8月3日の豪雨で損壊した上屋敷橋

大きな被害を受けた。川下の地域では毎回同じようなところで被害を受けており、市街地の水が側溝に一遍に流れ込み溢水を招くと考えられる。それを緩和するために、町なかの空き地などを活用して、遊水地や調整池などを整備すべきと考えるがどうか。

〔建設部長〕 新たに宅地を開発する場合を除き、既存住宅地に遊水地を整備するのは、広大な面積と水深を確保する必要があり、用地取得の問題も加わり、現時点では非常に難しいものと考えています。

設が多くなっています。どのように市全体の利益に結びつけていくかを検討します。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月9日、及び12日から14日までの4日間にわたり開催し、一般会計・8特別会計・3企業会計における令和3年度の決算等を審査しました。
その結果、いずれも認定・可決すべきものと決まりました。
当特別委員会の主な質疑については、次のとおりです。

〔委員〕 監査委員の決算審査では、過去に指摘のあった点や住民監査請求のあった事業などを参考にしているのか。
また、実地監査は行っているのか。

〔監査委員事務局長〕 決算審査は財政面から監査しており、過去の指摘事項等は考慮していませんが、このほかに定例監査があり、その中で指摘事項に上がったものは、次の監査で確認しています。

また、学校や指定管理の実地監査を毎年行っており、そこでの指摘事項に関する報告書の提出を求め、次の監査の参考としています。

〔委員〕 ICT推進チームの実証実験のうち、実際の施策に結び付いた例はあるのか。

また、ICT推進チームは組織を横断したプロジェクトチームでの取組であるが、この取組をどのように評価しているのか。



▲プログラミング授業の様子
(鷹山流 GIGA スクール推進事業)

〔政策企画課長〕 ICT推進チームの事業のうち、鷹山流GIGAスクール推進事業は今年度本格的に事業を進めています。
また、プロジェクトチームでの取組では、各部署から職員が集まり多様な意見が交換され事業が進んだ点や自ら考える機会となり職員の育成につながった点が評価できる一方、活動時間の調整が難しく負担が大きかったという課題もあり、同様の取組を他の事業で行う場合には、庁内での協議が必要であると考えています。

〔委員〕 置賜成年後見センターの業務が令和4年度から始まったが、センターでの相談件数とその相談体制はどうなっているのか。

〔高齢福祉課長〕 4月から8月までの相談件数は64件で、本市を除く置賜2市5町への出張相談も11回行っています。基本的には市町が相談の一次窓口となり、必要なサービスや支援につなげていきますが、一次窓口で対応が困難な場合は、一次窓口と置賜成年後見センターで連携しながら対応しています。

〔委員〕 分別の間違ひ等で収集されないごみ袋も一旦収集し、千代田クリーンセンターで中身を確認すべきではないか。

また、ごみ袋への記名は義務か。プライバシー保護の観点から問題があるのではないか。

〔環境生活課長〕 ごみ袋を全部集めた後ではルール違反のごみ袋の特定は困難であり、収集所の段階で違反ごみを回収しない取組は必要であると考えています。

ごみ袋への記名は義務ではなく、プライバシーに配慮し、町内で決めた世帯番号を記入する等の工夫をしているところもあります。

るもあります。収集所管理と適正なごみの出し方の徹底については、今後も衛生組合や町内会と協議していきたいと考えています。

〔委員〕 青少年勤労意欲高揚事業基金の令和3年度の残高は二百万円となっている。毎年二百万円ずつ取り崩しているが、残高がなくなった場合、どのような取扱いになるのか。

〔商工課長〕 この基金は、市内在住の方から寄附いただいた千四百万円を基金として積み立て、寄附者の意向により、若者の勤労意欲を高めるような事業などに活用しており、平成2年度からムーンライトフェスティバルやホワイトフェスタなど、若者を対象としたイベントを行ってきましたが、平成28年度からは、アクティビティ米沢の管理費に充当しています。

所期の目的は達成したと考えており、今年度をもって廃止する方向で検討しています。
〔委員〕 大森山森林公園の今後の方向性はどのように考えているのか。

また、利用者の声をどのようにに取り入れていくのか。

〔森林農村整備課長〕 森林体験交流センターが廃止となること

ともあり、木に触れるという点で大事な施設であると捉えており、遊具や遊歩道等の整備をしながら森林公園としての機能を維持していきたいと考えています。
また、幼稚園など定期的にご利用されている方もいることから、そういった方から意見をお聴きしたいと考えています。



▲大森山森林公園

〔委員〕 伝統産業の振興のため、人材育成事業を展開しているが、具体的にどのような事業を行っているのか。
また、この事業は、後継者の育成につながっているのか。

〔商工課長〕 研修会や講習会を行い、後継者の育成に取り組んでいるほか、伝統産業に携わる意識を高めるため、毎年、

従業員の永年勤続表彰を行うなど、伝統産業に対する理解を深め、後継者の育成を図るための事業を展開しています。

また、移住した若い方が米沢織の会社に就職し、その後、新たに会社を立ち上げたという事例もあり、市としても、情報発信に協力しながら伝統産業を盛り上げていきたいと考えています。

【委員】市道桑山住宅1号線のエア―遮断機設置後の作動実績はあるか。

また、他の冠水想定箇所への設置はどのように考えているか。

【土木課長】このエア―遮断機は、万世町桑山地区内の国道13号のアンダーパスに設置されたもので、冠水10センチメートルで遮断機が作動する仕組みとなっており、令和4年7月17日及び8月3日の2回作動し、効果があったと捉えています。

また、今後の遮断機の設置については、道路冠水のスピードや交通量の多さを考慮した上で検討する必要がありますが、工事費が高額であり、現時点では全てのアンダーパスに設置する考えはありません。



▲国道13号アンダーパスに設置されたエア―遮断機

【委員】除雪オペレーターの育成のため、資格取得に対する補助を行っているが、資格取得後の技術の向上、ノウハウの蓄積が大切だと思うが、その点について、どのような支援を行っているのか。

【土木課長】資格だけではオペレーターとは言えず、技術や経験が重要だと考えています。今後、除雪業者と協働で、オペレーターの育成、技術力向上に関する研修会等を実施できるように研究していきたいと考えています。

【委員】近年の降雨状況を考えると、各分署に水防資機材を配備する必要があると思うがどうか。

【防災危機管理課長】水防資機材は、市庁舎北側の水防倉庫に配備されています。現在、

消防団のポンプ庫の統廃合と資材の整理を行っており、整理後は、一部の消防団のポンプ庫を水防倉庫として使用し、そこに水防資機材を配備したいと考えています。

【委員】民間の事業所で学習した場合、出席日数はどのような取扱いとなるのか。

また、民間の事業所での学習の状況等を確認するため、視察を行っているのか。

【学校教育課長】学校での学習に準じている内容で、民間の事業所と連携が取れているものは、積極的に出席日数として扱うよう学校に通知しています。

また、子どもの様子は事業所から聞き取りをしています。また、学校から事業所に出向く機会が少ないことから、今後は、事業所の視察を検討したいと考えています。

【委員】市税等や保険料等において不納欠損額が減少しており、その大部分を国民健康保険税が占めているが、どのような状況だったのか。

【納税課長】執行停止が3年継続したとき消滅する、いわゆる執行停止後3年欠損分が、令和2年度に比べ令和3年度の額が少なかったため、不納欠損額が減少したところです。

【委員】虐待等支援困難ケースに関する相談件数が前年度より若干減少しているが、この状況をどのように捉えているか。

【高齢福祉課長】地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所などの関係者による研修会を実施するとともに、虐待を早期に発見し対応できるようにネットワークを構築してきたこともあり、相談件数が減少傾向にあると考えています。

【委員】水道の有収率が83%と低い状況にあるが、原因をどのように捉えているか。

【水道課長】有収率が低いのは漏水が一番の原因であり、ほとんどが各家庭につながる給水管で発見されています。

今後、空き家などで長期間使用されない給水管が増えていくと考えられますが、先進地では、道路部分の本管分水栓から止めているところもあることから、そうした事例を参考にしながら、有収率の向上に努めていきたいと考えています。

【委員】浄水管理センターにおいて排出される汚泥のうち、堆肥化されている割合はどの程度か。

また、鶴岡市では農業協同

組合と共同で堆肥化に取り組んでいるが、本市でも同様の取組を検討できないか。

【下水道課長】汚泥の66%が堆肥化されています。

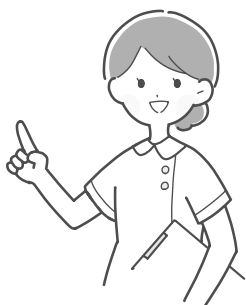
また、本市の場合、コンポストの設備がなく堆肥化できないことから、汚泥を市外・県外に運び、産業廃棄物処理業者が堆肥化やバイオマス燃料化を行っているところです。

【委員】看護師数が前年度より減少しているが、どのように捉えているか。

また、退職の理由は把握しているか。

【市立病院総務課長】看護師数が減少したのは、定年退職者が増えたことに加え、定年前の退職者が一定数いたことが原因となっています。

また、退職の理由は、県外での就職、引っ越し等によるものであると聞いています。



予算特別委員会

9月21日に開かれた予算特別委員会から

質疑の主なものをお知らせします。

【委員】 新型コロナウイルスワクチン接種について、オミクロン株に効く新しいワクチン接種の実施方法はどのように行うのか。

【健康課長】 オミクロン株に対応した二価ワクチンの接種については、9月24日の集団接種から、従来株によるワクチン接種をオミクロン株対応ワクチンに切り替えて接種を開始することとしており、従来株ワクチンで申込みをいただいた方にもその旨をご案内しているところです。

また、個別接種につきましては、10月24日から各医療機関で接種いただくよう準備を進めているところです。



▲左からオミクロン株対応ファイザー、従来型モデルナ、従来型ファイザー各ワクチン

【委員】 新型コロナウイルス感染症に関し、本市として施設等へのクラスター予防対策の周知等はどのように行っているのか。

【健康福祉部長】 新型コロナウイルス感染症の第5波、第6波のように大勢の感染者が出るたびに、国からの注意喚起文書を施設等へ通知しています。また、問合せがあった場合、市として今まで蓄積したノウハウ等を活かしながら施設等への指導を行っています。

【委員】 肺がん検診について、レントゲンではなくCTによる検査はできないか。また、できない場合の課題は何か。

【健康課長】 CT検査による肺がん検診は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であるため、自治体が実施する対策型検診では推奨しないと国のガイドラインにあることから、CT検査は一次検診を受けて異常があった場合に受けるものとして、今のところ一次検診で用いることは考えていないところです。

ただし、鷹山ドックのオプションとして、CT検査を実施している医療機関がありますので、ご希望の方はそちらを受診いただきたいと思います。

【委員】 ごみ回収のときの分別のチェック基準が厳しくなっていることはないか。

【環境生活課長】 ごみ回収時のチェック基準は変わっていませんが、分別ルールは令和3年11月にスプレー缶等を資源に変更するなどしており、ごみ分別の冊子等を参考に正しい分別にご協力をお願いしたいと考えています。今後は、市民が分別ルールをより判断しやすいよう工夫していきたいと思っています。



▲違反ステッカーが貼られ未回収のごみ

【委員】 消費喚起促進事業について、現在の事業の申込状況はどうか。また、事業が実施されたことにより個人消費の喚起、促進販売にどう結び付いているのか。

【商工課長】 今年度、現在までに実施した団体が6団体で、その他新型コロナウイルス感染症の第7波が収まるまで少し待つという団体や相談を受けている団体も8団体あることから、当初予算を上回る見込みのため今回補正させていたものだものです。

今までの事業実績としては、マルシェ、各団体によるスタンプラリー、商店街で行っている誘客イベント等があります。各団体に、実績報告とともに経済効果を数値で出していただいており途中経過ですが、今のところ6団体合計で補助申請額3百60万円に対し約2千2百万円の経済効果があるとの報告であります。補助額の約6倍程度の効果がありますので、今後もそれ以上の波及効果が得られるよう支援していきたいと考えています。

【委員】 学校運動会のようなイベントで、防犯対策の現状はどのようなものか。

【学校教育課長】 運動会等の学校行事における防犯対策としては、子どもたちはグラウンドの中で活動することとなることから、子どもたちの安全を優先しながら行事を進めるため、保護者や地域の方たち

に対しても、参観できるエリアを設ける等の対策を取っているところです。

【教育指導部長】 子どもたちをどう守るのかを改めて、校長会等々に確認しながら、それぞれの学校環境にもよりますが、共通して安全対策の見直しを再度図っていききたいと思っています。

【委員】 水道加入金について、水道を廃止した場合、還付するのか。また、その位置付けはどうなっているのか。条例等に明記して対応すべきではないか。

【業務課長】 水道加入金については、原則還付しておりません。水道加入金の取扱い等については、条例や内規に規定されておりませんので、今後、規定することについて、上下水道部内で検討させていただきたいと思っています。



総務文教常任委員会

管外行政視察

南房総市では、廃校施設の利活用事業者とのマッチングについて、原則としてプロポーザル方式で事業者の選定を行っており、「施設全体を現状有姿にて活用する事業者を対象として公募していますが、失敗のないよりよい公募につながるためのサウンディング調査の実施を検討していました。

また、廃校施設を民間で活用しているシラハマ校舎では、地域の人の関わり方で、事業者がマーケットを開催したり、労働力を草刈りという形で提供しているほか、事業者が整備するス

令和4年7月19日～20日

千葉県南房総市、千葉県成田市

マートタウンの施設を災害時に避難場所として活用したいと考えているとのことでした。

さらに、成田市では、民間需要や事業者としての懸案事項を把握するために、廃校が決まると事業者からの問合せ内容をリスト化し、10社程度から話を聴くサウンディング型市場調査を実施しており、その後、庁内検討委員会、利活用の方針（行政活用／民間活用）を決定し、地域説明会を実施しているとのことでした。

産業建設常任委員会

オンライン行政視察

鶴岡市では、サイエンスパーク内に先端研究産業支援センターを設置し、同パーク内の生命科学関連の研究機関から派生したベンチャー企業などにレンタルラボを提供することで、研究成果の産業化を支援しています。地元の雇用創出や、同パーク内での消費・投資、研究の事業化を受けての生産増加など、様々な波及効果を見込んでいるとのことでした。

会津若松市では、地元のICT専門大学と連携して、市全体のスマートシティ化に取り組んでいます。その取組

令和4年5月11日 山形県鶴岡市

令和4年5月18日 福島県会津若松市

の一環としてオフィスビルであるスマートシティA i C T（アイクト）を設置し、ICT関連産業の集積や雇用・新たな人の流れの創出を目指しているとのことでした。



▲オンライン視察の様子（本市庁舎委員会室にて）

民生常任委員会

管外行政視察

蒲郡市では、平成23年度にメタボ該当者の割合が県内ワースト1位になったことで健康づくりが市の重点施策となっており、平成25年度に全庁横断的な取組の主体として健康化政策全庁的推進プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトから平成26年度に始まった「体重測定100日チャレンジ！めざせ1万人！」は市民参加型の取組で、毎日体重を計測することによって、食事・運動に気を付け、適正体重の人が増加するなど、市民の健康意識の向上につながっているとのことでした。

議会運営委員会

管外行政視察

議会運営委員会では、感染症のまん延や災害の発生等により議事堂への参集が困難な場合にオンラインを活用した委員会が開催できないかを検討しており、オンライン委員会の開催のために例規を改正している3つの市議会の視察を行いました。

オンライン委員会の開催要件は、新型コロナウイルス感染症がまん延した場合に限定しているところと、感染症のまん延と災害が発生した場合に開催できるところとがあるところがありました。介護・育児等によるオンライン委員会の開催を今

令和4年7月19日～20日

愛知県蒲郡市、愛知県大府市

大府市は東蒲町と連携して、健康・医療・福祉に関する施設の集積地であるあいち健康の森とその周辺地区をウエルネスバレーと名付け、健康長寿の一大拠点の形成を目指しています。医療、福祉の現場の課題を解決するための医福工連携事業に力を入れており、「重量のあるストレッチャーを容易に救急車に搬出入できる製品」など、製品化した事例もありました。また、交流・にぎわいの拠点という側面もあり、近年は民間団体主催のイベントも増加しているとのことでした。

令和4年8月9日～10日

岩手県北上市、宮城県仙台市、福島県南相馬市

後検討していくということもありました。

また、オンライン委員会への参加方法については、委員長は議事堂に参集し、それ以外の委員はオンラインにより参加するところと、委員長及び委員は議事堂に参集し、参集できないやむを得ない事情がある委員のみオンラインによる参加を認めるというところがありました。

議会運営委員会では、3つの市議会における事例を参考に、オンライン委員会への開催に向けて、例規の改正などについて取り組んでいきます。

農林業振興議員連盟 令和4年7月21日 バイオガス発電施設・紅花栽培地視察

市内のバイオガス発電施設を視察しました。地域の畜産で発生した糞尿、家庭や商店で発生した生ごみなどを回収し、タンクの中で混合・攪拌し管理すること、メタンガスを発生させ、ガスエンジンで発電機で電気に変換しているとのことでした。タンクが密閉されていることなどから敷地内に悪臭もなく、火力や原子力によらないクリーンな形でエネルギーを生成していました。また、発電の副産物から生産した有機肥料を使って、地元農家と連携して農産物を生産しているとのことでした。

続いて、市内の紅花栽培地を視察しました。紅花畑や、収穫した花びらから染料の素材である「紅餅」を作る様子を見せていただきました。種まき・除草・花びらの摘み取りや、紅餅づくりを、地元ボランティア団体や地域住民の方々で行っているとのことでした。



▲バイオガス発電施設で発電の仕組みなど説明を受けている様子

産業建設常任委員会 令和4年8月19日 市内リンゴ栽培地視察

市内のリンゴ及びラ・フランスの栽培地を視察し、今年の6月3日に発生した降ひょうによって生じた被害の状況を確認しました。直径5〜10ミリメートル程度のひょうが激しく降り注いだことで、果実に傷やへこみができ、葉に穴が空くなどの被害が生じました。特にリンゴは、市内の栽培面積の約9割が被害を受けているとのことでした。視察時には、果実の傷の部分がコルク状に硬くなっている様子が確認できました。これらのリンゴは、おいしさでは通常のものとは変わらないものの、傷やへこみがあるために正規品としては出荷できないとのことでした。加工用として出荷したとしても、生食用の10分の1程度の金額でしか取り扱われないとの説明を受け、生産者の方々の収入状況への大きな打撃が懸念され、生食での販路開拓に向けた支援の必要性を再認識しました。



▲降ひょうにより傷やへこみが生じたリンゴ

本会議場へようこそ

9月30日に東部小学校3年生の84名の児童が市役所と本会議場を見学しました。

議員席と当局席に着席し、議会の仕組みや議場内の設備などについて説明を受けた後、実際に本会議で議員が使用しているマイクを使って質問する体験をしました。

市役所や議会の働きを知り、自分たちの生活との関わりなどを学習しました。



▲東部小学校3年生が議員席と当局席に座って説明を受けている様子



▲東部小学校3年生がマイクを使って質問している様子

※上記の写真は学校より許可をいただき掲載しています。

本会議場で 議会傍聴してみませんか

一般の傍聴席のほか、車椅子を利用されている方や身体に障がいがある方にも傍聴していただけるスペースを設けています。傍聴席までの経路で介助が必要な方は、議会事務局にお申し出ください。



議会傍聴される方へ のお願いです



米沢市議会傍聴規則において、議会傍聴時に守るべき事項が定められています。ご理解・ご協力をお願いします。

◎傍聴席に入る前に、帽子、コート等は脱いでください。

◎傍聴席での飲食、喫煙、私語、議員に対しての賛否の表明や拍手などは禁じられています。

◎携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定してください。

◎傍聴者による写真撮影、録音、録画は禁止されています。写真が必要な場合は、議会事務局職員がカメラをお借りして撮影いたしますので、事前にお申し出ください。（報道関係者は許可されています。）

8月臨時会で審議された議案

議案番号	件 名	結 果
報第14号	専決処分事件の報告について	承認
議第52号	米沢市庁舎解体工事請負契約の一部変更について	可決
議第53号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第4号)	可決

9月定例会で審議された議案

議案番号	件 名	結 果
報第15号	令和3年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	承認
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第54号	米沢市教育委員会委員の任命について	同意
認第1号	令和3年度米沢市一般会計歳入歳出決算	認定
認第2号	令和3年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第3号	令和3年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算	認定
認第4号	令和3年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第5号	令和3年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第6号	令和3年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第7号	令和3年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算	認定
認第8号	令和3年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第9号	令和3年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第10号	令和3年度米沢市水道事業会計決算	認定
認第11号	令和3年度米沢市下水道事業会計決算	認定
認第12号	令和3年度米沢市立病院事業会計決算	認定
議第55号	米沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決

議案番号	件 名	結 果
議第56号	米沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決
議第57号	米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第58号	米沢駅前駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第59号	米沢市児童福祉施設設置条例の一部改正について	可決
議第60号	財産(圧雪車)の取得について	可決
議第61号	米沢市庁舎解体工事請負契約の一部変更について	可決
議第62号	米沢市屋内遊戯施設整備建築工事請負契約の締結について	可決
議第63号	米沢市森林体験交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決
議第64号	米沢市置賜広域観光案内センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第65号	米沢市市営住宅条例の一部改正について	可決
議第66号	米沢市手数料条例の一部改正について	可決
議第67号	市道路線の認定について	可決
議第68号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第6号)	可決
議第69号	令和4年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決
議第70号	令和4年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決
議第71号	令和4年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計補正予算(第1号)	可決
議第72号	令和4年度米沢市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第73号	令和4年度米沢市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議第74号	令和3年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について	可決
議第75号	市道中山街道線上屋敷橋撤去に伴う仮設工事請負契約の締結について	可決
議第76号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第5号)	可決

※請願・意見書提出に係る発議の採決結果は、16頁に掲載しております。

議案の賛否一覧表

◆9月定例会において賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。

議案番号	採決結果	一 新 会						至 誠 会						市民平和クラブ				櫻田門			公明クラブ		日本共産党市議団	
		鳥海隆太	成澤和音	齋藤千恵子	工藤正雄	中村圭介	島軒純一	古山悠生	井上由紀雄	小島一	島貫宏幸	木村芳浩	相田克平	小久保広信	影澤政夫	太田克典	我妻徳雄	堤郁雄	関谷幸子	山村明	山田富佐子	佐藤弘司	高橋英夫	高橋壽
認第1号	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
認第2号	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
認第3号	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
認第4号	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議第75号	可 決	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
発議第5号	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
発議第7号	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	－	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×

○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 相田克平議長は採決に加わりません。

9月定例会で審議した請願・意見書の結果は次のとおりです。

請 願

採 択

- ◆令和4年8月3日豪雨被害対策に関する意見書提出方請願（請願第2号）
（山形おきたま農業協同組合
代表理事組合長 若林 英毅 外2名）

不 採 択

- ◆消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出方請願（請願第3号）
（米沢民主商工会 会長 櫻井 繁利）

意 見 書

否 決

- ◆消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について（発議第5号）
（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣あて）

可 決

- ◆令和4年8月3日豪雨被害対策に関する意見書の提出について（発議第6号）
（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、地方創生担当大臣、山形県知事あて）
- ◆インボイス制度における経過措置の延長と控除率の拡大並びに制度の周知を求める意見書の提出について（発議第7号）
（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣あて）

市議会12月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 12月5日 開会(本会議)
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 12日 一般質問
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 民生常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 予算特別委員会
- 22日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は、11月28日(月)午後5時の予定です。
※日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。
TEL 22-5111
(内線5303・5304)

米沢市立病院・三友堂病院 新病院建設工事現場を視察

▶新病院地下部分見学の様子



8月31日に米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事現場を視察しました。
建設工事現場事務所内で受託業者から全体の概要説明を受けた後、2班に分かれて建設工事現場を見学しました。
7階建ての新病院完成後、一部を駐車スペースとして利用する地下部分と、受付や救急外来診療、各種検査を行う1階部分を見学して工事の進捗を確認しました。

あ と が き

「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺(正岡子規)」
議会だよりの創刊はいつだったのか調べたところ昭和58年8月1日号でした。
市民の読者の皆様のおかげで来年8月で40年となります。めっきり寒さと、マスクが目立つ季節になってまいりました。
この冬は、南半球の状態から推測すると、インフルエンザが流行し、コロナとの二重での感染が心配されております。
マスクをして密を避け、換気に注意して乗り超えましょう。
ご自愛ください。

【編集委員 山村 明】

○議会だより編集委員会○

- 委員長 山田富佐子
- 副委員長 中村 圭介
- 委員 古山 悠生
- 小久保広信
- 山村 明
- 高橋 壽



スポット